

旧上宝カントリークラブ跡地の太陽光発電事業について

みんなで未来をつくる会
丸山 純平

問 「高山市美しい景観と潤いのあるまちづくり条例」では、太陽光発電設備の設置に際して、事前の届出を義務付けている。しかしながら、設置後の維持管理や安全対策に不備があつても、市が強制力を持って是正指導や撤去命令等を行う法的根拠が十分でないと考えるが、市の見解は。

答 条例では土地開発事業を行う事業者に対し、事業構想段階での届出を義務付けている。この制度は事業者が自らの責任において、美しい景観と潤いのあるまちづくりの推進を図るように求めるものであるため、強制力のある対応には一定の限界があることは認識している。また、条例に基づく指導は開発事業が完了する前にのみ可能であり、完了後の管理状況について指導することができる法的な根拠はない。事業完了後に発生した問題は、所管の行政庁や市の関係部署と適切に連携して、市民の安全と安心を守るために解決を図っていく。



物価高騰に苦しむ市民生活への支援策を

高山市議会公明党
山腰 恵一

問 政府は、物価高騰対策として、地方自治体が地域の実情に合わせて活用できる重点支援地方交付金を決定した。この重点支援地方交付金を活用し、市民生活への消費を下支えするための生活支援として、電子クーポン券やプレミアム商品券の事業を行ってはどうか。

答 今回の国の物価高騰対策は、生活者支援に重点を置くと認識しており、市として幅広い市民へ行きわたる支援が必要と考えている。様々なものについて検討を進めているが、できる限り早期に取り組んでいけるよう準備を進めていく。



飛騨センターの利活用見直しについて

みんなで未来をつくる会
益田 大輔

問 県は飛騨・世界生活文化センター（飛騨センター）について、利用者数減少を理由に休館や利活用の見直しを示している。同施設は文化芸術・青少年育成を担う市民の大事な居場所であり、広域防災拠点としても重要な役割を担っている。市の対応は。

答 飛騨センターは、ミュージカルや吹奏楽、部活動など市民活動の拠点であり居場所である。また、災害時の広域防災拠点として今後も活用を考えており、仮に活用が困難な場合でも、機能の補完や代替施設の確保などについて県と協議していく。



飛騨センター休館??

高山市議会公明党
中篠 博之

問 文化施設は採算性を求める施設ではないと考えるが、飛騨・世界生活文化センターを令和8年9月で休館させるという知事の意向は確認したのか。

答 飛騨3市1村の首長で知事に会い、これまで地域の文化芸術を担ってきた飛騨センターをこんなにも唐突に、期限ありきで進めることは、利用者や関係者の方々の思いを逆なでするものであり、県民の信頼が損なわれることにも繋がるのではないかとお話しした。市としては、これからもそういう立ち位置を崩さず、また必要があれば知事に会ってお話しする機会を持ちたい。

